



労働災害防止のために 安全対策の見直しを！

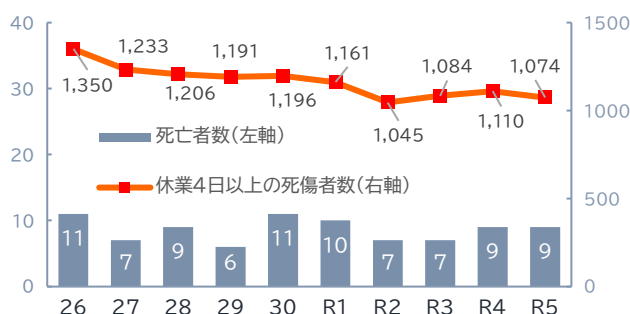
データで見る 木材産業の労働災害

資料：厚生労働省「労働者死傷病報告」「産業別死傷年千人率」
総務省・経済産業省 経済構造実態調査 製造業事業所調査から算出

死傷者数は
年間約1,000件

労働災害による休業4日以上[※]の死傷者数は年間約1,000件。
近年、下げ止まりの状況となっています。
また、死亡災害は毎年10件近く発生しています。

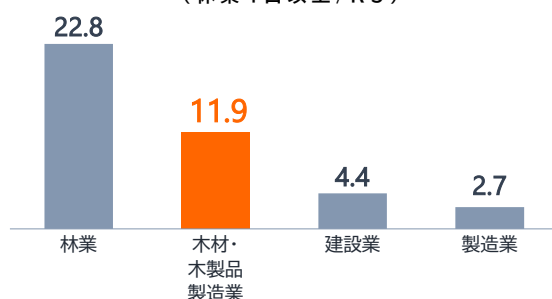
■過去10年間の死傷者数の推移



労働災害発生率は
製造業の約4.4倍

木材産業の災害発生率(死傷年千人率)は、
製造業全体の約4.4倍と、他産業よりも高い水準です。
(林業だけではありません！)

■業種別死傷年千人率
(休業4日以上/R5)

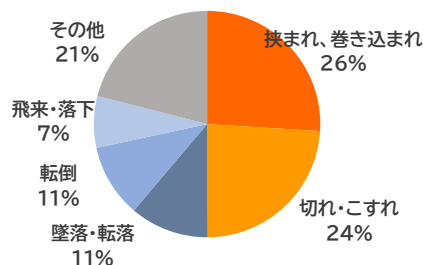


死傷年千人率とは…1年間の労働者1,000人当たり発生した死傷者数を示す数値

「挟まれ、巻き込まれ」
「切れ・こすれ」が多発

事故の型別では、約半数が
「挟まれ・巻き込まれ」「切れ・こすれ」となっており、
機械に関係する事故が多く発生しています。
これは、他の製造業と比べても高い傾向です。

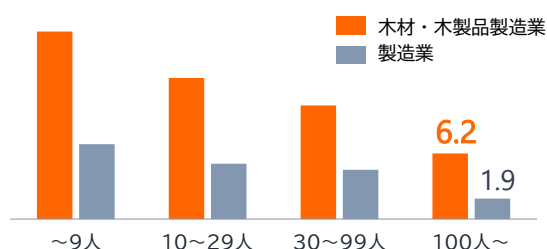
■事故の型別の死傷者数(R1～R5)



労働災害発生率は
大規模な事業所でも高水準

中小規模の事業所だけでなく、
大規模な事業所であっても、
他の製造業と比べて災害発生率が高い状況にあります。

■事業所規模別の年千人死傷率(R4)



人手不足が深刻化する中、木材産業の労働力を維持するためには、
労働者の安全を確保することが経営者の最低限の責務です！



農林水産省が作成した「作業安全規範」から、事業者の皆様に取り組んでいただきたい安全対策のポイントをご紹介します。

人的対応力の向上

- 具体的な取組目標の設定
- 安全に関する研修・教育の実施

経営者自らが、作業事故防止に向けた方針を表明することが極めて重要です。

作業環境の改善

- 危険個所の特定・注意喚起
- 作業手順の明文化・可視化

高齢者や外国人を含め、全ての人の目線で働きやすい職場環境を整備することが重要です。

ルールや手順の遵守

- 作業に適した服装・装備の着用
- 機械の適切な使用方法の徹底

現在の取組レベルを把握するために第三者による安全診断を受けることも効果的です。

情報分析・活用

- ヒヤリ・ハット事例の共有と積極的な活用

「ハインリッヒの法則(1:29:300の法則)」
…1件の重大災害の背景には、29件の軽微な事故と、300件のヒヤリ・ハットが起きている。

資機材、設備の安全性確保

- 機械の日常点検・整備の実施
点検等の際は、確実に機械を停止しましょう。
- 安全性の高い機械・設備の選択
人の注意力には限界があります。
機械災害を防ぐには、本質的な安全対策も必要です。

事故発生時の備え

- 事故発生時の対応マニュアルの作成・周知
- 労災保険への加入
事故の発生リスクはゼロにできません。
万が一に備えた対応を検討し、準備をしておきましょう。

農林水産業・食品産業の
作業安全のための規範

いのちを守る作業安全は
全てに優先する。

作業安全の確保は、経営が
継続発展するための要である。

作業安全確保のために
必要な対策を講じる。

事故発生時に備える。



作業安全規範について
詳しくはこちら

KEEP
SAFETY
FIRST.

農林水産省

農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（個別規範：木材産業）
事業者向け チェックシート

令和3年2月28日
最終版

事業者名（正確に）	
記入者（氏名・氏名）	
業種 （〇を付け、複数選択可）	製材業 / 集成材製造業 / 合板製製造業 / LVL製造業 / 床材製造業 / 木材チップ製造業 / ブナの製造業 / 木材・竹材卸売業 / その他
記入日	令和 年 月 日

重点の取組状況をご記入下さい。

具体的な事項		〇：実施 ×：実施していない △：今後、実施予定 ―：該当しない
1	人的対応力の向上	
1-(1)	作業事故防止に向けた方針を表明し、具体的な目標を設定する。	
1-(1)-①	知識、経験等を踏まえて、安全対策の責任者や担当者を選任する。	
1-(1)-②	作業安全に関する研修・教育を行う。外国人技能実習生等を受け入れる場合は、確実な内容を理解できる方法により行う。また、作業安全に関する最新の知見や情報の幅広い収集に努める。	
1-(1)-③	適切な防護や免許等が必要な業務には、資格格差を設ける。	
1-(1)-④	職場での朝礼や定例的な集会等により、作業の計画や安全意識を周知・徹底する。	
1-(1)-⑤	安全対策の推進に向け、従事者の提案を促す。	
1-(2)	作業安全のためのルールや手順の遵守	

作業安全規範では、6分野・25項目の取組を示しています。

まずは
チェックシートを使って
自己点検を行いましょう！

